

3-11 Hoshigadai, Tajimi City, Gifu Pref., 507-0811 JAPAN

TEL.+81-572-22-5381 / FAX.+81-572-25-1163

URL:http://www.ceram.rd.pref.gifu.lg.jp

Mail:info@ceram.rd.pref.gifu.jp

Gifu Prefectural Ceramics Research Institute

岐阜県セラミックス研究所

since 1911

TM

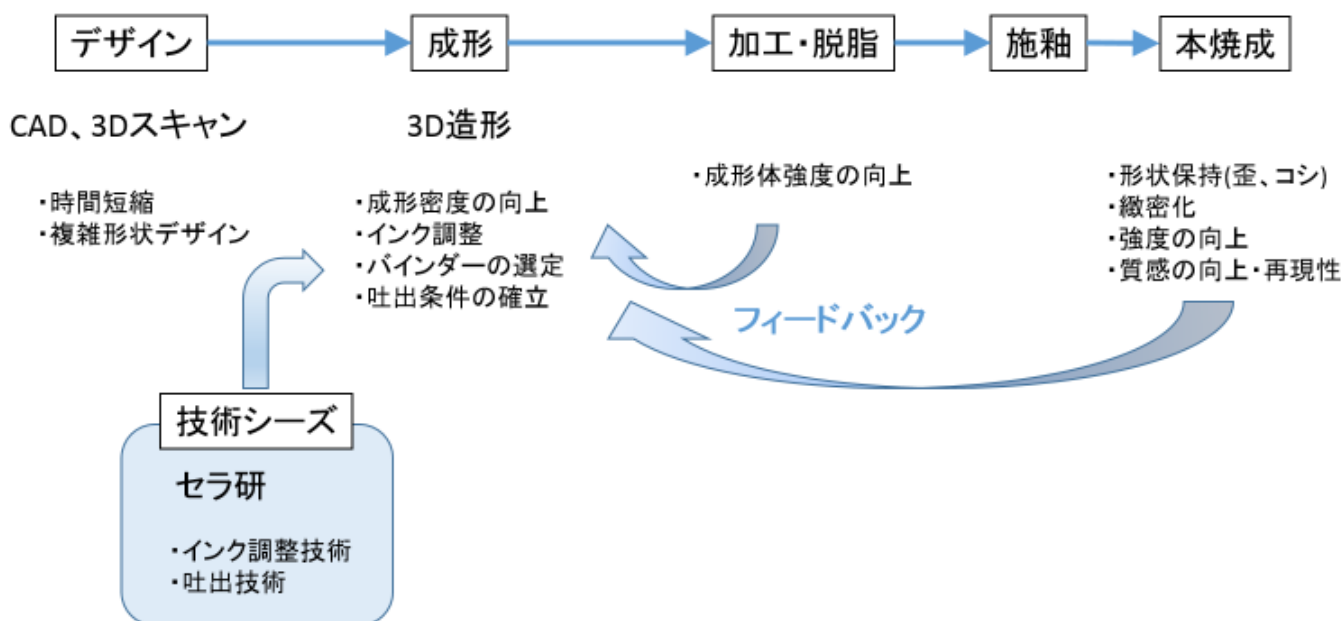
■平成27年度の研究開発事業

当所では、当所では、平成27年度に以下のような研究課題を実施します。

- ① 陶磁器原料の調査と代替原料の探索
- ② 多様なデザインニーズへ迅速に対応する美濃焼生産システムの構築
- ③ 液晶廃ガラスを使った陶磁器の作製技術に関する研究
- ④ 高潤滑性セラミックス素材の開発
- ⑤ 層状複水酸化物のバルク体の作製と多孔質化
- ⑥ AR技術を使用した陶磁器製品のプロモーション手法の提案
- ⑦ カルシウム系酸化物を用いた高効率熱反射建材の開発
- ⑧ セルフグレース化磁器の実用化研究とその特徴を活かした製品展開
- ⑨ 無焼成技術を用いた高付加価値ポットの開発とその応用
- ⑩ 3Dプリンターを用いた陶磁器素地成形技術の開発

上記②に関連して、3Dプリンターによる素地の直接造形技術の開発を行い、積層機構の検討や積層するインク材料の開発を進め、試作時間を1/7に短縮、コストを1/10に削減することを目指します。

陶磁器の製造工程



■ 研究成果発表会を開催しました

平成27年6月24日(水)に、当所において「平成26年度研究成果発表会」を開催しました。

この発表会は、平成26年度に実施した様々な研究成果を、地域のセラミックス産業に携わる皆様方の業務の一助として頂くため、毎年度開催しているものです。



本年度は、低温焼成できるエコなりサイクル食器について、透明釉を開発し、新たな商品展開が可能となった研究成果などを発表しました。



■ 岐阜県陶磁器デザイン協議会

「スケッチから始める染付」(第6回) を開催しました

平成27年4月17日(金)から6月19日(金)にわたり、岐阜県陶磁器デザイン協議会主催で「スケッチから始める染付」(第6回)を当所にて開催しました。

この研修会は、陶磁器の仕事に携わる方々に馴染み深い染付に焦点を当て、模様展開の基礎である植物スケッチを行いました。



講師には、百貨店で個展を開催される等、近年高い評価を得られている瀬戸染付け工芸館指導員の大谷昌弘氏をお招きしました。

■ 「陶&くらしのデザイン展2015

本展(瀬戸展)」に出展しました

平成27年7月9日(木)から15日(水)にわたり、瀬戸市「瀬戸蔵」において陶&くらしのデザイン展2015 本展(瀬戸展)を開催しました。

当所からは、窯業原料の問題がある中で、産業廃棄物の有効活用を考え、「産廃を利用した高気孔率な製品開発」と題して、排出される使用済み窯道具と珪砂採掘の際の未利用原料を使用した新しい製品を出展しました。

巡回展は本展開催後に巡回する展示会で、10月に岐阜展が開催されます。

○岐阜展

日時:平成27年10月17日(土)~19日(月)

午前10時から午後5時まで

場所:セラミックパークMINO展示ホール

多治見市東町4-2-5

〒507-0811

岐阜県多治見市星ヶ台3-11

電話:(0572)22-5381 FAX:(0572)25-1163

URL: <http://www.ceram.rd.pref.gifu.lg.jp>

Mail: info@ceram.rd.pref.gifu.jp